

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

91

魅力ある商店街づくり事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	1	地域を支える既存産業の振興
施策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針	3	地域の生活を支えるサービス産業の生産性向上

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		商工費	
	目		商工業振興費	
	大事業		商工業振興事業	
	中事業		魅力ある商店街づくり事業	

事業種別		継続	関連個別計画	
事業年度		H8 ~	担当課・担当課長・Tel	商工振興課 清水 出 435-1233
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	商業の衰退が顕著になる中、商店街内の店舗を個性のある魅力的な店舗とすることで、人が行きかう賑わいのある商店街とする。		商店街等が商店街活性化のために実施する事業に対し補助金を交付する。			
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	
	・集客・販促支援事業、商店街魅力UP事業に対し補助金を交付する。(補助率1/2)	・商店街や商店街内の個店が商店街活性化のために新たに実施する事業に対し補助金を交付する。(補助率1/2)	・商店街等が実施する、商店街の魅力発信のために新たに実施する事業に対し補助金を交付する。(補助率1/2)	・商店街等が実施する、商店街の魅力発信のために新たに実施する事業に対し補助金を交付する。(補助率1/2)	・商店街等が実施する、商店街の魅力発信のために新たに実施する事業に対し補助金を交付する。(補助率1/2)	・商店街等が実施する、商店街の魅力発信のために新たに実施する事業に対し補助金を交付する。(補助率1/2)

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	3,780	2,860	2,800	2,600	3,700	3,000	4,000	0	4,000	0
伸び率(%)	△45%	△84.2%	△25.9%	△9.1%	32.1%	15.4%	8.1%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	5,326	5,087	4,068	4,228	4,876	4,316	4,316	0	4,316
	正規職員以外	242	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	5,568	5,087	4,068	4,228	4,876	4,316	4,316	0	4,316
国庫支出金	0	2,700	0	0	1,850	1,500	2,000	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	3,780	160	2,800	2,600	1,850	1,500	2,000	0	4,000	0
所要人数(人)	正規職員	0.67	0.64	0.51	0.53	0.61	0.54	0.54	0.00	0.54
	正規職員以外	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	商業活性化支援事業補助金 4,000千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
夜間における賑わいの創出が見込まれる事業への助成件数	件	目標値		0	0	4	7	7
		実績値		0	0	5		
		達成度(%)		0%	0%	125%	0%	%
商業団体や個店が商店街活性化のために新たに実施する事業への助成件数	件	目標値		4	5	5	5	5
		実績値		4	6	6		
		達成度(%)		100%	120%	120%	0%	%
空き店舗率(空き店舗数/総店舗数)	%	目標値		20	20	20	20	20
		実績値		15.4	20.8	16.5		
		達成度(%)		0%	0%	0%	0%	%
		目標値						
成果指標		実績値						
		達成度(%)						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街への補助金交付により、商店街が専門家を招へい勉強会を開催する等の新たな動きにつながっており、今後も継続して支援していくことにより商店街の魅力向上を図ることができると考えられる。 ・商店街の個店が商店街アーケード内の一部にテラスを増席するなど、商店街の魅力の向上につながっている。
見直し・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・集客・販促支援事業に対する補助を平成29年度から廃止した。 ・平成29年度にナイトマーケットを委託により開催（まちなか魅力創出事業）したが、民間事業者による開催につなげるため平成30年度以降委託費から補助金へ変更した。 ・商業団体や個店が商店街活性化のために新たに実施する事業に対する補助は、商店街の個店の魅力を高め、生産性を向上させていくためにも継続して実施する。